

2019 年 度
事 業 報 告 書

一般社団法人 日本鉄リサイクル工業会

2019 年度事業報告書

2019 年度を振り返る時、前年に引き続く自然災害と年が明けてから世界的に拡散した新型コロナウイルスの話題を避けることはできないでしょう。9 月、10 月と立て続けに襲来した台風は、東日本を中心に甚大な被害をもたらし、当工業会々員の中にも被災が報告されています。この場を借りて、お見舞い申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の問題は、当初の疾病対策問題から、大きな経済問題へと拡大し、世界経済を動揺させるまでになっています。

鉄鋼業界は、過去 3 年間にわたって続いた好況が終焉し、米中貿易摩擦に起因する世界的な鋼材市況の低迷の影響から、粗鋼生産量が落ち込み 2009 年以来となる 1 億トン割れとなりました。特に、高炉メーカーの危機感は強く、製鉄所の閉鎖をも含めた大規模な合理化案が打ち出されています。

我々鉄スクラップ業界も、価格の低落、流通量減退に直面し、厳しい 1 年だったと言えます。特に 2020 年が明けてからの値下がりも顕著で、H2 価格が 2016 年 10 月以来となる 2 万円割れを記録しました。

また、中国の資源性廃棄物の輸入禁止による雑品スクラップの国内還流が鉄リサイクルの現場に大きな変化をもたらしています。

選別の難しいダスト、非鉄類が H2 スクラップに混入したことによる品質劣化は、国内の電炉メーカーだけでなく海外の需要家からも厳しい指摘を受けました。この対策として、九州、中四国の両支部で品質向上委員会が設立され、電炉メーカーと共同して H2 の品質改善に取り組む動きが始まりました。そして、各支部で同様の委員会設立が模索されています。

また、中国から締め出された古紙、廃プラスチックも国内への還流を余儀なくされ産業廃棄物の処理場不足が顕在化しています。その結果、シュレッダーダストの処理が滞り、廃自動車リサイクル自体が毀損する事態となっています。

処理場不足の解決は、当該業界だけでなく、環境省、経産省、地方公共団体等関係者全てと連携を取りながら議論していく課題と認識しています。

工業会の具体的活動については、次章以降に取り纏めます。

II 事業概要

<主要取り組み事業>

1. 鉄リサイクル業を通じた資源循環社会の推進及び地球環境保全に貢献する事業

【公益事業】

- (1) 自動車リサイクル法等の運用に係る事業 <自リ法委員会>
- ① 自リ法の運用状況把握及び関係機関への協議
 - ② 経産省、環境省の審議会への委員の派遣及び参加
 - ③ 破砕業者でのエアバック作動事故の防止に関する会員への周知
 - ④ 廃発炎筒回収に関する会員への周知
- (2) 適正な鉄スクラップ回収処理に資する対応
- 金属リサイクル伝票の実態把握及び発行・運用管理 <業務対策委員会>
- (3) 国際化対応の一環としての事業 <国際ネットワーク委員会>
- ① 海外関係機関主催の国際会議参加による海外の鉄リサイクル関連情報収集及び日本の優れた鉄リサイクルシステムの紹介による日本の鉄スクラップ業界のプレゼンスの向上。(今年度参加: ISRI (Institute of Scrap Recycling Industries)、中国廃鋼鉄応用協会 (CAMU)、BIR (Bureau of International Recycling)、韓国鉄鋼資源協会 (KOSIA))。
 - ② 韓国鉄鋼資源協会 (KOSIA)との覚書に基づいた日韓鉄スクラップ業界の情報交換及び相互交流の推進。
 - ③ 2019年6月15日に神戸で第8回「国際鉄リサイクルフォーラム」を開催。韓国、中国に加えEUの情報を議論。
- (4) 内外鉄スクラップ需給関連の調査・収集事業
- ① 国内需給や輸出動向を毎月取りまとめ(FAX通信)・公表 <事務局等>
 - ② 日本鉄源協会の各種調査事業への協力、需給流通委員会への委員派遣

2. 環境、労働安全等に係る講習会、講演会の開催(一般にも公開) 【公益事業】

- (1) 労働安全衛生講習会(支部協力の下、4回開催) <業務対策委員会・支部>

3. 鉄リサイクル業に関する各種普及、啓発事業 【公益事業】

- (1) 機関誌「鉄リサイクルニュース」の発行(190~192号) <広報委員会>
- (2) 鉄鋼業界紙等による幹部インタビュー、意見発信 <広報委員会>
- (3) 工業会ホームページの全面リニューアル及び保守・管理、業界活動等の情報発信 <広報委員会>

4. 会員の業の経営、業務基盤等の維持・強化に資する業界重点事業 【共益事業】

- (1) 各支部、部会による各種事業の実施 (第29回全国大会、各種講演会、勉強会、研修会等)

- (2)人材育成等に係る事業
- 第 17 回新発見セミナー21(北海道地区、10 月) <広報委員会>
 - 海外現場を肌で感じる活動(マレーシア訪問、11 月) <環境委員会>
- (3)フロン排出抑制法の改正に係る事業 <環境委員会>
- (4)廃掃法・バーゼル法の改正及び雑品スクラップ規制強化に係る事業
- 両法改正の詳細ルールである政省令、ガイドラインを都度会員に周知 <港湾委員会>
- (5)その他の施策
- ①労働安全衛生活動支援(労働安全情報提供) <業務対策委員会>
 - ②労働災害事故事例の調査収集と情報共有 <業務対策委員会>
 - ③危険体験学習会【新日鐵住金・鹿島製鉄所(11 月)】 <業務対策委員会>
 - ④労働安全ポスター及び過積載防止ポスターの作成、配布 <業務対策委員会>
 - ⑤韓国鉄鋼資源協会との交流、情報交換の推進、他 <国際ネットワーク委員会>
 - ⑥リサイクルポート施策に係る事業 <港湾委員会>
 - 鉄スクラップ輸出の向け先遠方化による大型船化対応港湾インフラ整備に関し、「リサイクルポート推進協議会」(国交省)に参加
 - ⑦工業会情報発信、出版物等の会員への周知 <広報委員会>
 - ⑧災害団体保険事業の実施 <業務対策委員会>

<総会、理事会及び委員会活動>

1. 第 44 回通常総会(2019 年 6 月 16 日 於: 神戸ポートピアホテル)
 - 第1号議案 議事録署名人選任の件
 - 第2号議案 平成 30 年度事業報告書(案)承認の件
 - 第3号議案 平成 30 年度決算報告書(案)承認の件
 - 第4号議案 定款の改定(案)承認の件
 - 第5号議案 平成 30 年度公益目的支出計画実施報告の件
 - 第6号議案 2019 年度事業計画書の報告の件
 - 第7号議案 2019 年度予算書の報告の件
 - 第8号議案 役員選任の件
 - 第9号議案 議事事項について、その趣旨に反しない範囲において字句の修正を会長に委任の件
2. 理事会(4 回)
 - ◆第 156 回理事会(2019 年 5 月 20 日)
 - (1)平成 30 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について
 - (2)内閣府への公益目的支出計画実施報告書の提出について
 - (3)2019 年度正会員会費の修正について
 - (4)定款の改訂について

(5)委員の交代について

(6)報告事項

- ①第 31 回全国大会(関西支部主管)について
- ②代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- ③第 157 回理事会(6 月 16 日開催)審議事項案
- ④その他

◆第 157 回理事会(2019 年 6 月 16 日)

(1)会長、第一副会長の互選の件

◆第 158 回理事会(2019 年 11 月 19 日)

(1)委員の交代について

(2)報告事項

- ①2019 年度中間決算について
- ②鉄スクラップの品質向上委員会(仮称)の設立について
- ③外国人材の受け入れに関する検討状況について
- ④日本鉄源協会への出資金に係る調査概要について
- ⑤第 32 回全国大会(東北支部主管)の開催要項について
- ⑥代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
- ⑦その他

◆第 159 回理事会(2019 年 3 月 25 日)

- (1)2020 年度事業計画書(案)及び予算書(案)の承認
- (2)委員長の交代の件
- (3)日本鉄源協会への出資金の取り扱い
- (4)第 45 回通常総会及び第 32 回全国大会の開催可否
- (5)報告事項
 - ①代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告
 - ②その他

3. 運営委員会

<委員会開催>(3 回)

◆2019 年度第 1 回運営委員会(2019 年 5 月 16 日)

- (1)平成 30 年度事業報告書(案)及び決算報告書(案)について
- (2)内閣府への公益目的支出計画実施結果について
- (3)2019 年度予算書修正案について
- (4)定款の一部改訂について
- (5)委員の交代について
- (6)第 31 回全国大会(関西支部主管)表彰候補者の選定について
- (7)第 157 回理事会(6 月 16 日)審議案

(8) 報告事項

- ① 鈴木会計士による 2018 年度決算に関する意見
- ② 第 31 回全国大会(関西支部支部主管)の準備状況について
- ③ その他

◆ 2019 年度第 2 回運営委員会(2019 年 11 月 12 日)

- (1) 委員の交代について
- (2) 2019 年度中間決算(案)について
- (3) 鉄スクラップの品質向上委員会(仮称)の設立について
- (4) 報告事項
 - ① 外国人材の受け入れに関する検討状況報告(業務対策委員会)
 - ② 第 32 回全国大会(東北支部主管)の開催要項について
 - ③ 日本鉄源協会への出資金に係る調査概要について
 - ④ 大規模災害に係る見舞金の考え方について
 - ⑤ 各支部及び各委員会の活動状況について
 - ⑥ その他

◆ 2019 年度第 3 回運営委員会(2020 年 3 月 17 日)

- (1) 2020 年度(令和 2 年度)事業計画(案)の承認
- (2) 2019 年度収支決算見込み及び 2020 年度収支予算(案)の承認
- (3) 委員長交代の件
- (4) 日本鉄源協会への出資金の取り扱い
- (5) 第 45 回通常総会及び第 32 回全国大会の開催可否
- (6) その他

<委員会活動・事業>

運営委員会は他の委員会の総括委員会に位置付けられており、当工業会の運営等全般に関する諸案件について対応。

- (1) 工業会の事業計画、事業報告及び予決算に係る事項の検討
- (2) 工業会の基本方針、コンプライアンスに係る事項の検討
- (3) 各支部、委員会活動の調整、支援に係る事項の検討
- (4) 関係省庁、関係団体との折衝、連携に係る事項の検討

4. 財務委員会

<委員会開催>(3 回)

◆ 2019 年度第 1 回財務委員会(2109 年 5 月 8 日)

- (1) 平成 30 年度決算(案)について
- (2) 2019 年度予算(案)予算の修正について
- (3) その他

◆ 2019 年度第 2 回財務委員会(2019 年 11 月 8 日)

- (1) 2019 年度中間決算(案)について

(2)その他

◆2019年度第3回財務委員会(2020年3月13日)

- (1)2020年度財務委員会の事業計画・予算(案)について
 - (2)2019年度決算見込み(案)及び2020収支予算(案)について
- ※新型コロナウイルスの感染拡大を受けて書面により評決。

<委員会活動・事業>

- (1)支部、部会を含めた工業会全体の財務状況把握、在り方の検討。
- (2)一般社団法人としての会計基準に基づく適正な予決算の実施。

5. 商社流通委員会

<委員会開催>(1回)

◆2019年度第1回商社流通委員会(2020年2月12日)

- (1)日本鉄源協会への「出資金」の取扱いについて
- (2)事務局報告
 - 雑品スクラップ国内還流の影響について-鉄リ工業会「品質向上委員会」
 - 自動車リサイクルの「マテリアルリサイクル促進」と「ASR削減」について
 - リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」について
 - 鉄リサイクル業界における外国人材受入れについて

<委員会活動・事業>

鉄スクラップの国内流通や輸出に係る全般的な情報を収集・発信することによる工業会活動支援。国内流通に係る諸問題(鉄スクラップ品質向上等)に関する協議、会員への発信による工業会活動支援。

6. 業務対策委員会

<委員会開催>(3回)

◆2019年度第1回業務対策委員会(2019年7月29日)

- (1)2019年度事業計画への具体的対応について
 - ①労働安全衛生講習会の開催について
 - ②危険体験学習会の開催について
 - ③労働災害・事故事例調査の実施について
 - ④安全ポスターの作成について
 - ⑤その他事業(過積載ポスターの作成等)
- (2)外国人材雇用に関する検討について
- (3)その他(情報交換等)

◆2019年度第2回業務対策委員会(2019年10月30日)

- (1)労働災害・事故事例調査について
- (2)労働安全衛生講習会の開催について
- (3)危険体験学習会の開催について
- (4)外国人材技能実習制度に関する今後の取組みについて
- (5)労働安全ポスター及び過積載防止ポスターの選定、確認
- (6)その他(情報交換等)

◆2019年度第3回業務対策委員会(2020年1月30日)

- (1)団体保険(施設賠償、労働災害総合、VIP)の契約更新について
- (2)令和2年度事業計画(案)及び予算(案)について
- (3)2019年度労働災害・事故事例調査の結果について
- (4)労働安全衛生講習会(東京)の開催報告について
- (5)第1回危険体験学習会(鹿島)の開催報告について
- (6)その他

<委員会活動・事業>

(1)労働安全衛生活動の推進(通年事業)

労働安全衛生講習会の開催「支部の協力の下、会員に限定せず開催」

- ◆講師:中央労働災害防止協会 技術支援部 専門役 安全管理士 藤井尚則氏
- 講習テーマ:「鉄スクラップ業におけるリスクアセスメント」

<開催>

- 1)東北支部(2019年4月18日 参加者36名)(平成29年度プログラム)
- 2)関東支部(2019年11月21日 参加者24名)
- 3)中部、関西、中国四国支部共催(2019年2月6日 参加者29名)
- 4)九州支部(2020年2月13日 参加者27名)

※北海道支部(2020年2月26日)及び東北支部(2020年4月17日)は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて開催を中止。

(2)会員への労働安全衛生活動支援

①労働安全衛生対策関連の情報の提供

中災防機関誌より特集記事をHP会員ページへ掲載等(毎月)

②危険体験学習会の開催

- 1)第1回危険体験学習会(2019年11月29日 参加者21名)

於:新日鐵住金(株) 鹿島製鉄所

※新日鐵住金(株) 和歌山製鉄所での第2回危険体験学習会(2020年3月11日)は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて開催を中止。

③労働安全ポスターを作成・配布。標語として「健康・安全スクラムくめば みんなで実現 ゼロ災職場」を選定。(2019年12月)

④過積載防止ポスターの作成、配布し、会員各社への啓発と注意喚起を実施。

(2019年12月)

(3)業界独自の労働災害・事故事例の収集調査を実施 (2019年10月)

(4)災害団体保険の更新内容の検討、加入者募集 (2020年3月)

7. 環境委員会

<委員会開催> (3回)

◆2019年度第1回環境委員会(2019年5月27日)

(1)委員長より各種報告

- ・鉄スクラップ(棒鋼)のサンプリング調査
- ・鉄スクラップの品質向上委員会
- ・外国人材の受け入れに関する検討状況

(2)海外現場を肌で感じる活動について

(3)ヨーロッパのサーキュラー・エコノミーの現地調査

◆2019年度第2回環境委員会(2019年11月20日)

(1)新委員ご紹介

(2)委員長より各種報告

- ・委員長交代について
- ・ヨーロッパのサーキュラー・エコノミーの現地調査
- ・海外現場を肌で感じる活動
- ・外国人材の受け入れに関する検討状況
- ・鉄スクラップの品質向上委員会

(3)当委員会主催「定例講演会」について

◆2019年度第3回環境委員会(2020年2月17日)

(1)委員長より各種報告

- ・海外現場を肌で感じる活動～マレーシア視察ミッション
- ・当委員会主催「定例講演会」実施について

(2)2020年度事業計画・予算案について

<委員会活動・事業>

(1)フロン排出抑制法の改正に係る事業

- ・環境省等との情報交換
- ・環境省中央環境審議会地球環境部会フロン類等対策小委員会へ委員として参加(甲谷環境委員長)
- ・会員への周知、ポスター及びチラシの配付

(2)海外現場を肌で感じる活動～マレーシア視察ミッション

(2019年11月25日～28日実施/会員18名参加)

訪問先:天龍資源産業(雑品スクラップヤード)、Malaysia Steel Works(電炉、誘導炉)、CSTME Resources(非鉄スクラップヤード)、Intergreen Metals(鉄スクラップヤード)、三井物産クアラルンプール支店

8. 国際ネットワーク委員会

<委員会開催> (4回)

◆2019年度第1回国際ネットワーク委員会(2019年6月4日)

- (1)第8回「国際鉄リサイクルフォーラム」(神戸)の準備状況確認
- (2)韓国鉄鋼資源協会(KOSIA)との交流会について
- (3)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」(青森)開催方針
- (4)今後の海外ミッション予定

◆2019年度第2回国際ネットワーク委員会(2019年8月2日)

- (1)第8回「国際鉄リサイクルフォーラム」(神戸)のレビュー
- (2)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」(青森)の開催方針について
- (3)今後の活動内容について

◆2019年度第3回国際ネットワーク委員会(2019年11月27日)

- (1)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」(青森)の準備状況確認
- (2)今後の海外ミッション予定

◆2019年度第4回国際ネットワーク委員会(2020年2月3日@青森)

- (1)第9回「国際鉄リサイクルフォーラム」(青森)の準備状況確認
- (2)今後の海外ミッション
- (3)2019年度決算、2020年事業計画及び予算

<委員会活動・事業>

- (1)2019年6月15日に第8回「国際鉄リサイクルフォーラム」を神戸にて開催。

従来の中国、韓国に加えEU及び香港から主要業者を招聘し、「鉄リサイクルのグローバル化」をテーマにプレゼンテーション、ディスカッションを行う。参加者は約300。

- (2)海外関係機関主催の国際会議参加により、海外の鉄リサイクル関連情報を収集。

日本の優れた鉄リサイクルシステムを紹介し、日本の鉄スクラップ業界のプレゼンス向上に貢献。以下の国際会議に参加。

- 2019年4月8日～9日 ISRI(ロサンゼルス)
- 2019年4月24日～25日 CAMU(広東省珠海市)
- 2019年5月21日～22日 BIR(シンガポール)
- 2020年2月11日～12日 KOSIA 総会・セミナー(ソウル)

- (3)韓国鉄鋼資源協会とは2018年9月締結の覚書に基づき、日韓鉄スクラップ業界の情報交換及び相互交流を推進。

9. 広報委員会

<委員会開催> (3回)

◆2019年度第1回広報委員会(2019年7月18日)

- (1) 工業会ホームページのリニューアルについて
- (2) 今年度の新発見セミナー21について
- (3) 鉄リサイクルニュース190号掲載記事について
- (4) その他

◆2019年度第2回広報委員会(2019年11月21日)

- (1) 工業会ホームページの一部改良について
- (2) 第17回新発見セミナー21実施報告
- (3) 鉄リサイクルニュース191号掲載記事について
- (4) その他

◆2019年度第3回広報委員会(2020年2月18日)

- (1) 2020年度事業計画・予算案審議
- (2) 鉄リサイクルニュース192号掲載記事について
- (3) その他

<委員会活動・事業>

- (1) 鉄リサイクルニュース発行・配布(190号:8月、191号:12月、192号:3月)
- (2) 第17回新発見セミナー21(2019年10月23日～24日実施/会員37名参加)
訪問先:株式会社日本製鋼所室蘭製作所、株式会社SRテクノ、石狩湾新港東埠頭、
株式会社マテック石狩支店
- (3) 工業会ホームページの全面リニューアル(2019年7月12日公開)、保守・管理、業界活動等の情報発信
- (4) 2020年工業会カレンダーの作成・配布

10. 自動車リサイクル法委員会

<委員会開催> (4回)

◆2019年度第1回自動車リサイクル法委員会(2019年6月25日)

(港湾委員会との合同委員会)

- (1) 環境省の都道府県宛て出状された廃プラスチック処理に関する都道府県の対応
(各地区の状況)
- (2) 雑品スクラップの国内還流によるリサイクル現場への影響

◆2019年度第2回自動車リサイクル法委員会(2019年10月1日)

- (1) 産構審・自動車リサイクル合同会議報告
- (2) ASR 差配に関するTH、ARTとの協議内容報告
- (3) Aプレス、ソフトプレスへの異物混入防止キャンペーンについて

(4) 自り法委員会の下期活動方針の確認

◆2019年度第3回自動車リサイクル法委員会(2019年12月4日)

(1) JARCより報告

- ASR量削減に資する対策の検討について(関係者訪問ヒアリングの中間報告)
- JARCの破砕工程システム改善について

(2) ASR差配に関するTH、ARTとの協議内容

◆2019年度第4回自動車リサイクル法委員会(2020年3月17日)

(港湾委員会との合同委員会)

(1) 経産省・環境省合同委員会に向けてのワーキンググループについて

(マテリアルリサイクル促進、ASR削減)

(2) ASRを取巻く直近の状況 - 遠方差配の運賃補助等々

(3) Aプレスの輸出

<委員会活動・事業>

(1) 自り法の運用状況把握及び関係省庁、関係機関との協議。

シュレッダーダストの差配状況、再資源化施設の受入れ状況の調査及び実情把握。

シュレッダーダスト受入を円滑にすすめる為の関係機関との折衝。

マテリアルリサイクル促進及びASR削減に向けての関係機関との協議。

(2) 「産業構造審議会・中央環境審議会 - 自動車リサイクルに関する合同会議」(経産省、環境省)及び関係諸会議に参加。

(3) 破砕業者でのエアバッグ作動事故の防止に関する会員への周知。

(4) 廃発炎筒回収に関する会員への周知。

11. 港湾委員会

<委員会開催>(2回)

◆2019年度第1回港湾委員会(2019年6月25日)

(自動車リサイクル法委員会との合同委員会)

(1) 環境省の都道府県宛て出状された廃プラスチック処理に関する都道府県の対応
(各地区の状況)

(2) 雑品スクラップの国内還流によるリサイクル現場への影響

◆2019年度第2回港湾委員会(2020年3月17日)

(自動車リサイクル法委員会との合同委員会)

(1) リサイクルポート推進協議会「国際資源循環部会」について

(大型船船積港に向けての港湾インフラ整備の進捗状況)

(2) 北海道石狩湾新港について

(3) 名古屋港管理組合について

(4) その他輸出に関する状況 - 韓国他

<委員会活動・事業>

(1) 雑品スクラップ規制強化への対応。

改正廃掃法・バーゼル法による雑品スクラップ規制強化に関する経産省、環境省、その他公的機関との協議及び業界への周知。

(2) 国内向け及び輸出向け鉄スクラップの品質向上に関する業界への周知徹底。

特にダスト混入の改善に関しては全国展開を目指し、一部港湾ではダスト・シェイカー等で対応。

(3) リサイクルポート施策への対応

鉄スクラップ輸先がより遠方化に向かう中での大型船対応港湾インフラ整備に関し、「リサイクルポート推進協議会」内発足の「国際循環部会」に参加し、国交省や関係者と協議の上具体策を提言(同部会長は田中副会長)。

III 庶務事項

1. 会 員(2020年3月31日現在)

正会員	712社(専業696、商社15、海外1)
正会員登録事業所	167事業所(専業130、商社37)
賛助会員	61事業所

2. 役員等

会 長	1名
副 会 長	2名
専務理事	1名
理 事	4名(会長、副会長、専務理事を除く)
監 事	2名
顧 問	3名
支 部 長	7名
委 員 長	9名(特別委員会を除く)
運営委員	18名(含む委員長、以下同様)
財務委員	9名
商社流通委員	12名
業務対策委員	15名
環境委員	11名
国際ネットワーク委員	10名
広報委員	12名
自動車リサイクル法委員	8名
港湾委員	7名
会費検討特別委員	16名(特別委員会)

3. 会 議

(1) 第 31 回全国大会(関西支部主管)

2019年6月16日(日)～17日(月)、神戸市の神戸ポートピアホテルにおいて、全国各地より700名を超える会員と関係者が参集し、過去最大規模で盛会に開催された。来賓として経済産業省製造産業局金属課の木原栄治金属技術室長、井戸敏三兵庫県知事、久元喜造神戸市長をはじめ、鉄鋼会社の方々を迎えた。また、スカイマーク株式会社代表取締役会長の佐山展生殿より[人生は「面白そう」を追求する旅]と題して記念講演が行われた。

(2) 2020年新年賀詞交歓会

2020年1月8日(水)、東京・茅場町の鉄鋼会館において470名の参加を得て新年賀詞交歓会が開催された。経済産業省製造産業局金属課の木原栄治金属技術室長、普通鋼電炉工業会の渡邊 誠会長及び一般社団法人日本鉄源協会の宮本勝弘会長を来賓に迎え、新年に当たりご挨拶を頂いた。

(別途、関東を除く6支部においても新年賀詞交歓会が開催された。)

(3) 普通鋼電炉工業会との対話

製鋼用鉄スクラップの品質劣化、混入トランプエレメント等鉄スクラップを取り巻く課題や環境変化等について意見交換会を開催した。

4. 関係機関への委員派遣

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

①副会長、理事、監事、需給流通委員会・運営委員会等委員派遣 (会長他)

(2) 経済産業省、環境省関係

①経済産業省「産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会自動車リサイクルWG」委員 (専務理事)

② 環境省「中央環境審議会循環型社会部会自動車リサイクル専門委員会」委員 (専務理事)

(3)「リサイクルポート推進協議会」運営委員 (専務理事)

(4)「リサイクルポート推進協議会・国際資源循環部会」部会長 (副会長)

(5)公益財団法人自動車リサイクル促進センター 評議員、総務委員 (専務理事他)

(6)公益財団法人古紙再生促進センター 理事 (専務理事)

(7)一般社団法人日本自動車会議所、経済・産業委員会 委員 (専務理事)

(8)鉄リサイクル企業年金基金 理事 (常務参与)

5. 講演会、説明会

(1) 業務対策委員会の下、労働安全衛生講習会を各支部の協力により3回開催。

なお、中小事業者における類似労災事故防止に役立ててもらうため、会員に限定せずに参加者を募集。

6. 関連団体の活動

(1) 一般社団法人日本鉄源協会

鉄スクラップ関連情報として、年1回「鉄源年報」、3ヵ月に1回「クォーターてつげん」、月1回「てつげん短信」をそれぞれ発行。

(2) リサイクルポート推進協議会、国際資源循環部会

部会活動、リサイクルポートセミナー、ブロック交流会等を通じて静脈物流における港湾(リサイクルポート)の果たすべき機能、特に大型船による鉄スクラップ輸出に向けた港湾インフラ整備に関し調査・検討・提言等を実施。

(3) 鉄リサイクル企業年金基金

2020年3月31日現在で実施事業所数 205社、加入者数 6,811名、受給者数 3,311名、運用資産(時価)約 80億9,900万円となっており、関連諸事業を推進。

7. 事務局

鉄スクラップ業の業況等関連情報の収集・提供、会議の企画、各種資料の作成・報告等を行うとともに、関係省庁からの情報の周知、要請への対応・意見具申並びに関係業界との連携等を推進。また、理事会、運営委員会の決議に基づき、当工業会の運用基盤の整備に係る業務等を遂行。

(1) 一般社団法人に義務づけられている内閣府への公益目的支出計画の実施報告。

(2) 施行後14年を迎えた自動車リサイクル法の見直しに、時代の要請に合った効率的なリサイクル(「マテリアルリサイクル促進」及び「ASR削減」)が実施されるよう関係省庁、関係機関との連携、調整等。

(3) 我が国鉄スクラップの西南アジア等への遠距離輸出の増加が想定される中で、積出港の大型船対応について継続的に関係省庁への説明、調整等。国交省主管の「リサイクルポート推進協議会」、「国際資源循環部会」に参加。

(4) 廃掃法とバーゼル法に関し関係省庁と緊密に連絡をとり、必要な情報収集を行い、工業会会員への情報提供等。

(5) 中小企業保険法(セーフネット保証5号)の業種指定継続に向けた対応。

(6) 関係省庁からの発表、要請事項等の会員への周知、案内。

① 夏季、冬季における節電の協力要請及び省エネルギー対策について

② JARC(自動車リサイクル促進センター)の事業者向け「練習システム」リニューアルのお知らせ

③ 中小企業等に対する時間外労働の上限規制の適用について

④ 「古物営業法」の一部改正による許可申請(届出)について

⑤ 可燃性断熱材処理における注意喚起

⑥ フロン排出抑制法の改正について

(7) 工業会会計全体の一層の合理化、効率化を図り、会計処理手順や帳簿体系の統一化を図るため会計ソフトを導入。また、会計の透明化、適正化を図るため公認会計士による外部監査の実施を目指し、予決算管理及び日常の会計基盤

の整備を推進。

(8)内外マスコミ及び関係諸機関からの取材、問合せへの対応。

(9)毎月FAX通信を作成・配信。(本部事務局の活動状況及び業況概要)

8. 2019年度新入会員

● 専門会員

<北海道支部>

ダイワゲート株式会社	代表取締役	柳田幸太
------------	-------	------

<関東支部>

株式会社ケイコーポレーション	代表取締役	藤田浩志
----------------	-------	------

千葉製鋼株式会社	代表取締役社長	杉本義幸
----------	---------	------

<中部支部>

高和興業株式会社	代表取締役社長	加藤健二
----------	---------	------

● 賛助会員

中央電力株式会社	代表取締役社長	平野泰敏
----------	---------	------